

&lt;認知症対応型共同生活介護用&gt;

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

|                                | 項目数 |
|--------------------------------|-----|
| I. 理念に基づく運営                    | 11  |
| 1. 理念の共有                       | 2   |
| 2. 地域との支えあい                    | 1   |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 3   |
| 4. 理念を実践するための体制                | 3   |
| 5. 人材の育成と支援                    | 2   |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援          | 2   |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 1   |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 1   |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント  | 6   |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 1   |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2   |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1   |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 2   |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援      | 11  |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 9   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 2   |
| 合計                             | 30  |

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 事業所番号 | 4671000224                  |
| 法人名   | 医療法人 微笑会                    |
| 事業所名  | グループホーム ほほえみ                |
| 訪問調査日 | 平成20年4月24日                  |
| 評価確定日 | 平成20年5月23日                  |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島 |

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

|               |                                  |
|---------------|----------------------------------|
| 事業所番号         | 4671000224                       |
| 法人名           | 医療法人 微笑会                         |
| 事業所名          | グループホーム ほほえみ                     |
| 所在地<br>(電話番号) | 指宿市東方314-1<br>(電 話) 0993-22-1030 |
| 評価機関名         | 特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島      |
| 所在地           | 鹿児島市真砂町34番1号 南光ビル303号            |
| 訪問調査日         | 平成20年4月24日                       |

## 【情報提供票より】(平成20年4月7日事業所記入)

## (1)組織概要

|       |           |        |                         |
|-------|-----------|--------|-------------------------|
| 開設年月日 | 平成12年5月1日 |        |                         |
| ユニット数 | 2 ユニット    | 利用定員数計 | 18 人                    |
| 職員数   | 16 人      | 常勤     | 14人, 非常勤 2人, 常勤換算 15.5人 |

## (2)建物概要

|      |                  |       |       |
|------|------------------|-------|-------|
| 建物構造 | 木造2階建防火サイディング 造り |       |       |
|      | 2 階建ての           | 1 階 ~ | 2 階部分 |

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |            |                |          |
|---------------------|------------|----------------|----------|
| 家賃(平均月額)            | 31,000 円   | その他の経費(月額)     | 円        |
| 敷 金                 | 有( 円)      | (無)            |          |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 円)      | 有りの場合<br>償却の有無 | 有/無      |
| 食材料費                | 朝食         | 200 円          | 昼食 400 円 |
|                     | 夕食         | 400 円          | おやつ 円    |
|                     | または1日当たり 円 |                |          |

## (4)利用者の概要(4月7日現在)

|       |           |      |      |    |      |
|-------|-----------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 18 名      | 男性   | 1 名  | 女性 | 17 名 |
| 要介護1  | 3 名       | 要介護2 | 8 名  |    |      |
| 要介護3  | 4 名       | 要介護4 | 1 名  |    |      |
| 要介護5  | 1 名       | 要支援2 | 1 名  |    |      |
| 年齢    | 平均 86.7 歳 | 最低   | 76 歳 | 最高 | 95 歳 |

## (5)協力医療機関

|         |         |
|---------|---------|
| 協力医療機関名 | 田畑クリニック |
|---------|---------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、周囲を畑や山に囲まれた、閑静で自然豊かな場所に建てられている。近くにはミカンや栗、ビワの木もあり、季節の移り変わりを感じることができる。ホーム内では静かに時が流れ、心穏やかに過ごすことができる雰囲気がある。母体が医療機関であることから、入居者の健康管理や必要な治療は随時受けられる体制にあり、安心した生活を送ることができる。管理者や職員は、地域密着型サービスとしての役割を十分に意識しており、積極的に地域との関係づくりに力を注いでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

|      |  |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)   |
|      | 【災害対策】地域の協力体制については運営推進会議において検討しており、地域住民との日頃の関わりを深めていくことが、協力関係を築くことにもつながるとい認識のもと、積極的に取り組んでいる。   |
| ①    | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)  |
|      | 自己評価については、ミーティング時に現状を話し合い、今後の改善や取り組みまで話し合われている。外部評価の結果については、運営推進会議で改善への取り組みが話し合われており、職員全員に周知されている。                                   |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)   |
|      | 自己評価については、ミーティング時に現状を話し合い、今後の改善や取り組みまで話し合われている。外部評価の結果については、運営推進会議で改善への取り組みが話し合われており、職員全員に周知されている。                                   |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)  |
|      | 何でも言えるような関係づくりを心掛けて、積極的にご家族に声をかけて働きかけているため、意見箱は設置しているものの、直接、管理者や職員へ意見や要望等を表出されるケースがほとんどである。また、年2回家族会が開催されており、ご家族から意見を表出できる場が設けられている。 |
| ③    | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)   |
|      | 地区民として会費を納め、回覧板をまわしたり、クリーン作戦等地区の行事に参加している。また、子供会の六月燈等の行事があるたびに、地域の皆さんがホームを訪れ交流する機会を持っている。  |
| 重点項目 | ④  |

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>    |    |   |   |      |                                  |
| 1. 理念と共有              |    |   |   |      |                                  |
| 1                     | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 地域密着型サービスとしての役割を職員全員で話し合い、これまでの理念を見直して新たに掲げている。   |      |                                  |
| 2                     | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 日常的に職員間の会話の中で、理念の持つ意味や考え方について触れたり、ミーティング時に日々のサービス提供場面を振り返り、確認し合うようにしている。                                |      |                                  |
| 2. 地域との支えあい           |    |   |   |      |                                  |
| 3                     | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 地区民として会費を納め、回覧板をまわしたり、クリーン作戦等地区の行事に参加している。また、子供会の六月燈等の行事があるたびに、地域の皆さんがホームを訪れ交流する機会を持っている。               |      |                                  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |   |   |      |                                  |
| 4                     | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 自己評価については、ミーティング時に現状を話し合い、今後の改善や取組みまで話し合われている。外部評価の結果については、運営推進会議で改善への取組みが話し合われており、職員全員に周知されている。        |      |                                  |
| 5                     | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議では、ホームの活動報告や自己評価・外部評価の結果報告をするとともに、地域の中での役割等について話し合われている。会議後の職員への報告はミーティング時に行われ、具体的な取組みについて検討している。 |      |                                  |

| 外部                     | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|------------------------|----|--|---|------|---|
| 6                      | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | ホームの運営面について疑問に思うことや相談事がある場合、市の担当者を訪ねている。困難事例については直接ホームへ来てもらい、現状を確認してもらった上で問題解決に努めるようにしている。  |      |   |
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |    |  |   |      |   |
| 7                      | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 毎月、請求書とともに入居者の健康状態等を記したものをご家族に送付している。また、便りを発行しており、行事報告やお知らせ、入居者の写真を掲載することで、日頃の暮らしぶりを報告している。金銭管理についての報告は、ご家族の面会の際、出納帳と領収書を揃えてご家族に確認してもらっている。 |      |   |
| 8                      | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 何でも言えるような関係づくりを心掛けて、積極にご家族に声をかけて働きかけているため、意見箱は設置しているものの、直接、管理者や職員へ意見や要望等を表出されるケースがほとんどである。また、年2回家族会が開催されており、ご家族から意見を表出できる場が設けられている。         |      |   |
| 9                      | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 入居者への影響を一番に考え、職員が辞める際のお知らせは入居者の状況を見て行っている。新しい職員については、その都度、個別に挨拶と紹介を行っている。職員が働きやすい職場を目指し、管理者は職員の状況を常に把握するよう努め、必要に応じて声かけや相談等を受けるようにしている。      |      |   |
| <b>5. 人材の育成と支援</b>     |    |  |   |      |   |
| 10                     | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 内部研修、外部研修ともに職員が参加できるように、研修案内等の情報提供を行っている。研修参加後は、受講者の代表が報告書をまとめ、参加できなかった職員への報告会を行っている。研修計画は、今のところ作成されていない。                                   | ○    | 様々な研修会の情報は得ているが、その時点での勤務状況に合わせた参加となっている。職員の立場や経験、習熟度等に応じた研修計画を立て、段階的に力をつけていけるような学びの機会を設けることが望まれる。 |
| 11                     | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | ホームが地区のグループホーム連絡協議会の事務局になっており、他のホームとの連携、交流が頻繁に行われており、相互訪問を通じて互いに研鑽し合う関係を築いている。  |      |   |

| 外部                                 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |   |  |      |                                  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |   |  |      |                                  |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居者の心身の状態に合わせて、入居前に暫く通っていただいたり、ご家族と一緒に宿泊するなど、様々な手段を話し合いながら、徐々に馴染んで安心して暮らせるように配慮している。               |      |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |   |  |      |                                  |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                        | 職員は、お世話しているという意識を持たず、互いに支え合い共存しているということを念頭に置きながら、料理の仕方や生活の中での工夫等を入居者から遠慮なく教わるようにしている。              |      |                                  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |   |  |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |   |  |      |                                  |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 本人から思いを把握することが困難な方がほとんどであるが、入居者一人ひとりの表情や言動から意向を確認している。また、職員の気づきを大切にしており、職員全体で毎日の朝礼時に情報共有するようにしている。 |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |   |  |      |                                  |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している         | 介護計画書作成時は、入居者及びご家族の希望や職員の意見を必ず確認している。また、作成した介護計画書については、再度、ご家族、職員へ提示して確認してもらっている。                   |      |                                  |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している     | 毎月、モニタリングを行い、現状把握と介護計画書の見直しを行っている。計画に変更がない場合でも、ご家族へ報告して計画続行の旨を説明している。                              |      |                                  |

| 外部                                 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |    |   |  |      |                                  |
| 17                                 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                           | 医療連携体制が整備され、入居者の状態変化に対して即座に適切な医療処置、対応ができる仕組みがある。また、定期受診時の介助やリハビリテーションへの送迎、訪問理容の利用等の支援を行っている。                               |      |                                  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |    |   |  |      |                                  |
| 18                                 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 入居時に、主治医を協力医療機関へ変更してもらうことについて、本人やご家族に説明を行い、納得された上で変更している。協力医療機関からの訪問診療が週2回、看護師の訪問が週1回行われており、その時々々の受診結果についてはご家族へその都度報告している。 |      |                                  |
| 19                                 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | これまで看取りのケースは無いが、入居時に全ての入居者を対象に、重度化や終末期についての説明と方針の確認を行っている。   |      |                                  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |    |   |  |      |                                  |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |    |   |  |      |                                  |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                 |    |   |  |      |                                  |
| 20                                 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 職員の言葉遣いについて、職員間で互いにチェックを行い、ミーティング時に指摘して注意を促している。また、面会簿により個人情報の漏洩が考えられたため、様式や管理方法の見直しが行われ改善されている。                           |      |                                  |
| 21                                 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 入居者それぞれのペースや生活パターンを把握し、その時々々の状態を見ながら、対応するようにしている。食事については、時間を決めて全員で摂るようにしているが、その時の状態や気分によっては、無理強いせず様子を見ながら声かけを行うようにしている。    |      |                                  |

| 外部                                   | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |    |   |   |      |                                  |
| 22                                   | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 調理の得意な方は、職員と一緒に食材を切ったり、味付けをしたりしている。リビングルームのテーブルがやや小さいため、現状では入居者のみで食卓を囲んでいるが、職員も同じテーブルで食事を摂れるように、テーブルの形を検討したり、配置について工夫したりしている。 |      |                                  |
| 23                                   | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 入浴は週3回として、時間帯については入居者の希望を第一に考えて話し合いを行い、基本的には午前中と決めている。必要な場合は午後に入浴やシャワー浴にも対応している。  |      |                                  |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |    |   |   |      |                                  |
| 24                                   | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 食事の準備や片付け、掃除、洗濯といった家事作業の好きな方や、家庭菜園の野菜の手入れをされる方、絵画や折り紙の創作、指導の得意な方、英語の得意な方など、入居者それぞれの得意な分野を活かしながら楽しめる場面づくりを行っている。               |      |                                  |
| 25                                   | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 天気の良い日は毎日でも、近くの公園やホーム前の駐車場等へ出かけている。車椅子使用の方も同じように、いつでも外出できるように支援している。  |      |                                  |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |    |   |   |      |                                  |
| 26                                   | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 日中は、玄関や居室の鍵はかけていない。入居者一人ひとりの行動パターンを把握することで、それぞれの方に応じて外出機会を設けて対応している。  |      |                                  |
| 27                                   | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 災害時の訓練を、消防署指導のもと年2回行っている。地域の方の協力については、日頃の関わりを深めることでホームの存在を知ってもらい、互いに協力して助け合う関係づくりに取り組んでいる。                                    |      |                                  |

| 外部                         | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |   |      |                                  |
| 28                         | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事摂取量及び水分量の確認は、全入居者について毎日概ね確認されている。水分摂取や排泄の状態は、必要に応じて量や性状の確認まで行っている。  |      |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |    |   |   |      |                                  |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |    |   |   |      |                                  |
| 29                         | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 日中は、ほとんどの方がホームの中心にあるリビングルームで過ごされている。壁は折り紙作品や絵画などで装飾され、明るく楽しい雰囲気が味わえる。窓からは自然豊かでのどかな景色が見え、入居者同士で外を眺めながら会話する様子が見られる。 |      |                                  |
| 30                         | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | ベッドと洗面台は備え付けのものであるが、他の家具類は全て持込みのもので、入居者それぞれにベッドや家具が配置され、装飾品にも個性が感じられる居室づくりがなされている。                                |      |                                  |